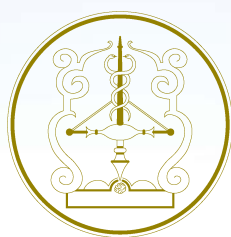


リハビリテーションを受けられる 患者様・御家族様へ

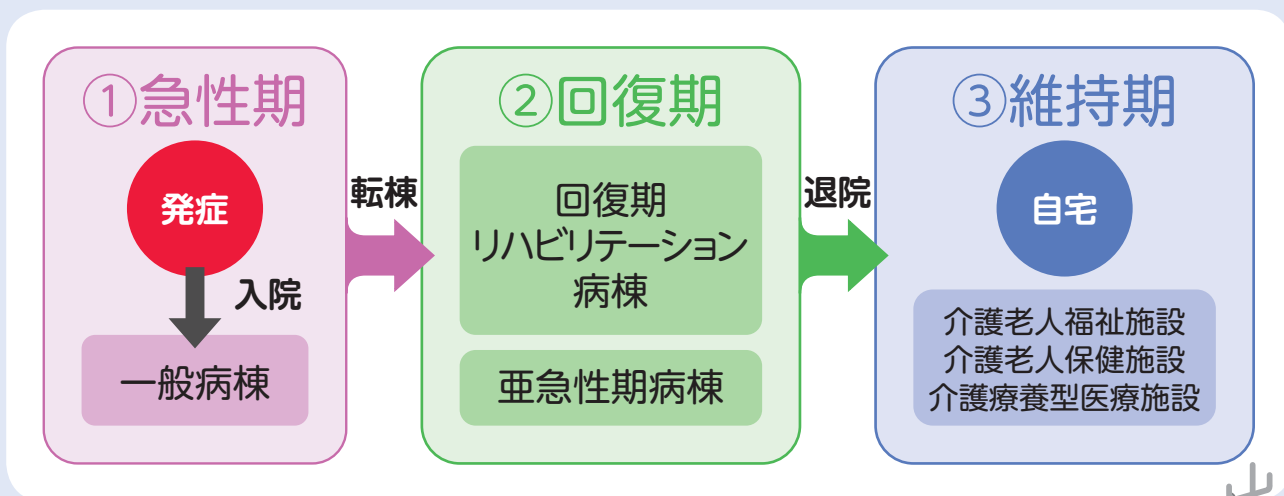


医療法人 光臨会

荒木脳神経外科病院
リハビリテーション部

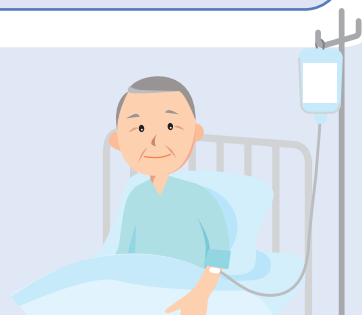
リハビリテーションってなに？

●リハビリテーションの流れ



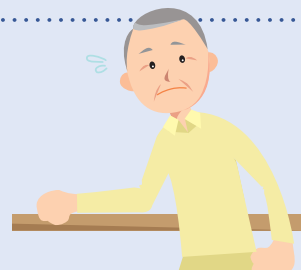
① 急性期

出来るだけ早く家庭復帰・社会復帰するためには、廃用症候群を予防することが重要です。そのため早期からリハビリテーションを行います。



② 回復期

在宅復帰、社会復帰を目指し日常生活のリハビリテーションを行います。




③ 維持期

当院では、退院後必要に応じて、関連事業所と連携して、患者様への幅広いサポートを行います。

- 荒木訪問リハビリテーション
- 荒木クリニック(通所リハビリテーション)
- あんしんホーム(グループホーム)
- 荒木居宅介護支援事業所





どんなリハビリテーションがあるの？

理学療法 (PT)

基本動作能力(起き上がる、座る、立つ、歩くなど)の回復をはかり、健康と生活を支援します。




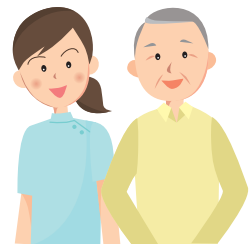
作業療法 (OT)

生活の中の様々な行為の練習(トイレ・食事・家事など)や、作業を用いて健康と生活を支援します。



言語療法 (ST)

コミュニケーション・食事などの練習や生活を支援します。



当院では**廃用症候群予防**のため入院直後からリハビリテーションを行っています！
リハビリテーションでは状況に応じて**動きやすい服や靴**が必要になります。ご用意下さい。

廃用症候群って？

治療の過程で安静が必要な場合があります。
その為、寝たまま過ごす時間が長くなる場合があります。

どんなことが
起きるの？

心と身体の活動性が低くなり、残っている
機能や能力までも低下してしまいます。



例えば……

運動機能が低下すると、体力のない方は歩くことが難しくなる。

麻痺した手を動かさないと、関節が変形したまま固まることもある。

口の中にある細菌が肺に入り、肺炎にかかりやすくなる。

循環器
・起立性低血圧
・たちくらみ、失神

皮膚
・褥瘡
(床ずれ)

呼吸器
・息切れ
・肺炎

消化器
・便秘

泌尿器
・尿路感染
・頻尿

筋
・筋萎縮
・筋力低下

骨
・骨粗鬆症

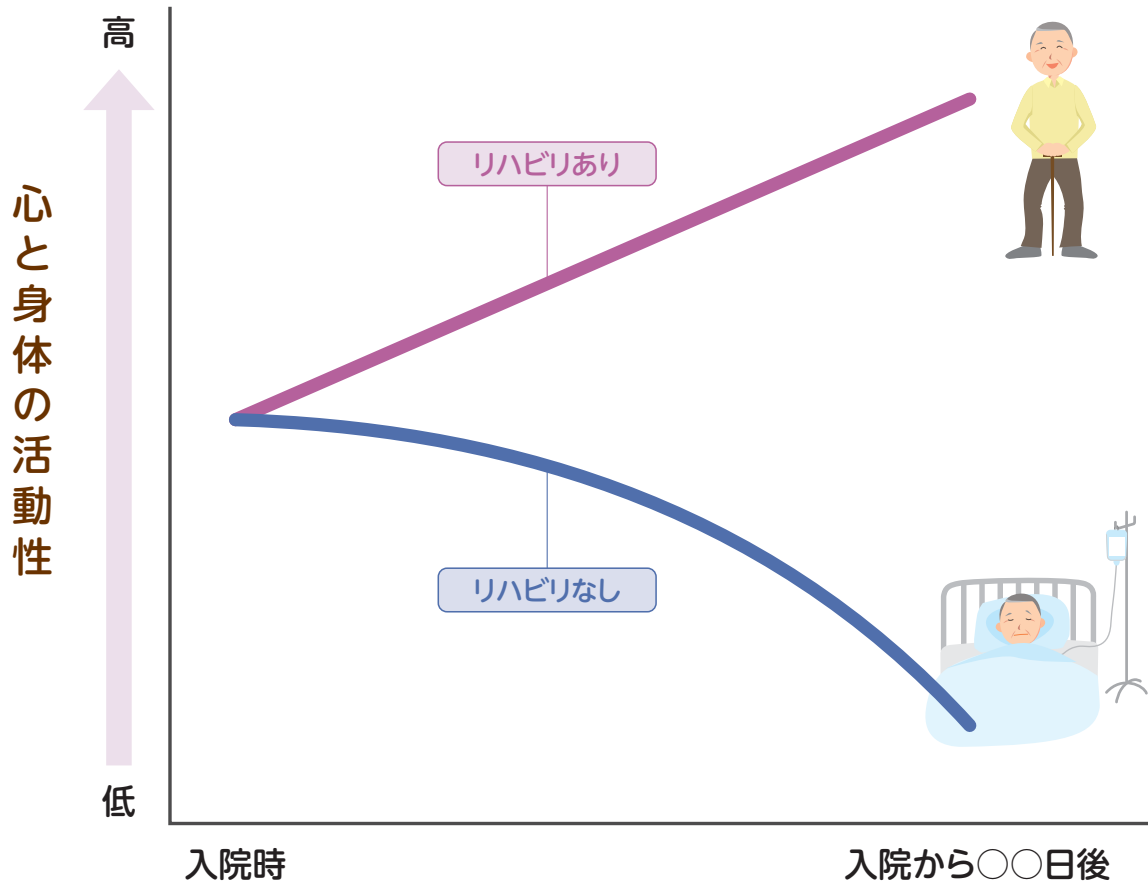


関節
・拘縮

精神機能面
・認知症

リハビリテーションを
早くから始めると
どうなるの？

病状に合わせてリハビリテーションを
すすめることで、心と身体の活動性を
維持・高めることができます。



リハビリスタッフによる練習だけがリハビリテーションというのでは
ありません。病院スタッフやご家族そしてご友人や社会も含め、
全ての働きかけがリハビリテーションです!!

安全に入院生活を送るために

リハビリテーションを行っていく上で、様々な危険性や積極的なリハビリテーションを妨げる要因が考えられます。医師と相談の上必要な配慮を取りながらリハビリテーションをすすめておりますので、ご理解下さい。

どんな危険性があるの？

転倒、転落、誤嚥性肺炎が代表的です。



転倒はどんな時におこってしまうの？

歩行練習中や階段、エレベーター、屋外の歩行中などで特に転倒の危険が高いです。万が一、転倒により骨折や打撲をした場合、積極的なリハビリテーションが行えなくなってしまいます。



**安全
対策**

リハビリスタッフが側にいない時に歩くことや、病棟外での活動を制限させていただく場合があります。

転落はどんな時に起こってしまうの？

ベッドから車いすへの移動、車いすからトイレへの移動の時に特に転落の危険が高いです。

**安全
対策**

これらの移動の制限をさせていただく場合があります。

誤嚥性肺炎はどんな時に起こってしまうの？

飲み込みの機能が低下して、誤って気管に食べ物が入ると、肺炎になることがあります。飲み込みが難しく、嚥下練習を行っている患者様は特に危険性が高いです。

**安全
対策**

食事形態や食事時の姿勢を制限させていただく場合があります。



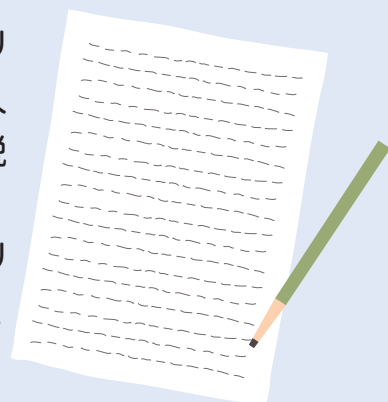
リハビリテーション実施にあたって

リハビリテーションを行っていく上で、知っておいていただきたい事項がありますので、ご理解下さい。

リハビリテーション総合実施計画書って？

当院では、ご本人・ご家族の思いを尊重しながら、月に1回「リハビリテーション総合実施計画書」というものを作成し、ご本人またはご家族へ、リハビリテーションの現状や目標についてご説明を行わせていただいております。

その他、状況に応じて、ご家族様と連携を図りながらリハビリテーションを提供して参りたいと考えております。ご不明な点、ご質問がありましたら、遠慮なくご相談下さい。



担当リハビリスタッフ不在の場合は？

担当リハビリスタッフが休みの日もリハビリテーションがあります。代替のリハビリスタッフの場合は、プログラムの内容が多少変更になることがありますが、ご了承下さい。

個人情報の取り扱いとは？

個人情報を守ります。リハビリテーションを実施する上で知り得た患者様およびそのご家族に関する情報を第三者に漏らすことはありません。また、この情報を守秘する義務はリハビリテーションが終了した後も続きます。

個人情報に関するお願い

当院のリハビリテーション部の提供するサービスの質向上や実績成果の公表の目的に、個人が特定されないことがないよう配慮した上で、リハビリテーションの実施記録を使用させていただく場合があります。同意をいただけない場合は、担当リハビリスタッフまでその旨をお伝え下さい。

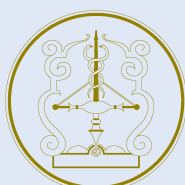


リハビリテーションを効果的に進めるためには、
患者様が積極的に取り組む必要があります。

また、ご家族の方々の協力が不可欠です。
ご家族を含め、チーム一丸となって、
リハビリテーションを頑張っていきましょう。



患者様、ご家族様自身
「こうしたい」と思う
生活の実現を!!



医療法人 光臨会

荒木脳神経外科病院 リハビリテーション部

〒733-0821 広島市西区庚午北二丁目8-7

TEL:082-272-1114 FAX:082-272-7048

[<http://www.arakihp.jp>]